



SASEBO WEEKLY

会長:石井 正剛 幹事:増本 一也
事務所:佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会会場:佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 26 年 3 月 5 日 第 3,110 回例会 NO 32

《本日》会員数 76 名(出席免除会員 23 名)・出席 57 名・免除者欠席 6 名・欠席 13 名・ビジター 1 名・出席率 75.00%

《前々回》会員数 76 名(出席免除会員 23 名)・出席 59 名・免除者欠席 8 名・欠席 9 名・メークアップ 9 名・修正出席率 100.00%

会長挨拶

会長 石井 正剛さん

3月の声を聞くと同時に、コートがハンガーに掛かったままの日が多くなりそうです。



暦便覧によると、「陽気地中に動き、ちぢまる虫、穴を開き出ずればなり」、3月5日頃を啓蟄しると言うと記されているようです。この暦便覧なるもの、二十四節気を調べていますとよく目にする文字です。

インターネット、アマゾンBOOKで検索してみますが、そのような本は出てきません。どうも書店では売っていないようです。さらにインターネットで調べてみますと、1787年に江戸で出版された太玄斎だいげんさいにより書かれた暦の解説書とありました。

現存する書物で、今では国立国会図書館に嚴重に保管されております。全20ページからなるこの本、画像化してインターネット上に公開されておりますので、全てのページをご覧になることが出来ます。

以前は分からないことがあれば辞書や百科事典を活用していましたが、今では何か分からないことがあればすぐ出てくる言葉が、「インターネットで調べたら」に代わったようです。

第9回理事会報告

1. 台南RCご来訪歓迎会について
スケジュールが決まりました。

平成26年4月13日(日)

9:00~ パールシー、HTB観光

17:00~ HTB デハール号にて船上歓迎会

2. 長寿祈願祭並びに祝賀会決算について
ほぼ予算どおりにて承認
3. 創立記念例会決算について
ほぼ予算どおりにて承認
4. ラホヤRCとの姉妹クラブ締結更新について
ラホヤRCより締結更新の熱望もあり締結更新書送付の確認
5. クラブ定款・細則の変更について
昨年のRI規定審議会での変更内容等確認、当クラブ定款及び細則変更点確認
6. 5月例会プログラムについて
後日週報に記載

例会記録

- 国歌「君が代」
- ロータリーソング「四つのテスト」
- ビジター
佐世保南RC 太田 博道さん

幹事報告

幹事 増本 一也さん

1. 第2740地区ガバナー 塩澤 恒夫さん
新世代統括委員長 増崎幸一郎さん
RYLA委員長 中島 洋三さん
RYLA実行委員長(諫早北RC) 小溝 忠徳さん

第35回RYLA(ロータリー青少年指導者育成プログラム)開催のご案内

日時/平成26年5月24日(土)～25日(日)[1泊2日]

登録受付開始 5月24日(土) 12:30～

会場/国立諫早青少年自然の家

(諫早市白木峰町)

テーマ/『“Try NEXT” 元気・本気・勇気が未来を築く』

参加対象者/各クラブ青少年・ローターアクト・インターアクト3名以上とロータリアン3名以上

登録料/各クラブ負担金

@800円×3月1日現在会員数

ロータリアン 1名 4,000円

青少年 1名 2,000円

2. 佐世保北RC30周年記念祝賀会

日時/平成26年3月1日(土)

会場/セントラルホテル佐世保

※荻原智子(水泳選手)さんの講演会及び懇親会が行われました

3. 地区大会参加のお願いと共に出欠の返事 駐車場の確保

委員会報告

■ロータリー財団委員会

委員長 松尾 文隆さん

当クラブの国際奨学生として支援いたしました、官家興様より、当時は経済的に厳しい中、佐世保RCの支援のお蔭もあり、長崎県立大学を卒業する事ができました。現在は、東彼杵町で農業を営んでおり、“恩返し”と、同じ境遇の苦学生を支援するため、自分が生産した500キロのお米を寄付したいとの申し入れがありました。



有意義に活用出来るよう、長崎国際大学ローターアクトのお世話を頂いております塚原先生とも相談いたしております。

- 1992年4月～1993年3月
カウンセラー：松本英介会員
- 中華民国(男)
生年月日：1968年11月25日
- 長崎県立大学経済学部経済学科卒

(2)

■クラブ会報・広報委員会

委員長 長富 正博さん

週報No.30(2月19日号)お詫びと訂正

創立記念例会卓話の米倉洋一郎さんの記事において下記箇所が間違っておりました。

お詫びして訂正させていただきます。

〔誤〕

4月17日(水) 40周年記念式典 16:00(玉屋8階)

〔正〕

4月17日(水) 40周年記念式典 16:00

(親和銀行本店9F)

■R奉仕プロジェクト委員会

委員長 富永 雅弘さん

台南クラブ来訪歓迎会

会員はじめ19名の方が来日されます。

平成26年4月13日(日)

9:00～・パールシー

・ハウステンボス

— カナルクルーズ

— 歌劇団観賞

17:30～・クルーズ船で懇親会

クラブをあげて歓迎したいと存じますので、多くの会員の皆様のご参加を宜しくお願い申し上げます。

セルフBOXへ案内を入れますので、よろしくお願ひします。



朗遊会より

朗遊会 幹事 坂本 敏さん

先日8RC親睦ゴルフ大会の幹事会がありました。今年中央クラブ担当で、親睦の意味を込めて2人1組で他のクラブと一緒に回るという組み合わせになりました。5月11日(日)に行われます。

〔朗遊会開催のご案内〕

第3朗遊会 3月9日(日) 11:26 スタート

第4朗遊会 4月19日(土) 11:09 スタート

ニコニコボックス

親睦活動委員会 坂元 崇さん

石井 正剛会長、増本 一也幹事
納所 佳民副幹事、西村 一芳さん
大神 吉史さん、米倉洋一郎さん
芹野 隆英さん、池田 豊さん
吉田 英樹さん、前田 文智さん
黒木 政純さん、福田 金治さん
大神 邦明さん、中島 祥一さん
山口 剛史さん、橋高 克和さん
松尾 貴さん、川口 博樹さん
岡村 一郎さん、池田 真秀さん
有蘭 良太さん、梅村 良輔さん
松尾 慶一さん、前田 勇人さん
坂元 崇さん、佐藤 淳さん
中村 徳裕さん、佐々木秀也さん

新会員 田頭慎一さんの目頭の熱くなる卓話に期待して。

岡 英樹さん

結婚記念日のお祝いありがとうございました。

ニコニコボックス 本日合計 29,000 円
累計 748,000 円

卓 話

『我が社と小型造船業界の
現状と将来への展望』

新会員 田頭 慎一さん
(前畑造船(株) 代表取締役)



1. 自己紹介

鹿児島県出身で64歳、佐世保重工業、大島造船所を経て現在の前畑造船(株)に入社して29年、前社長の死去により社長になって5年半になります。

初代社長から代々血筋の繋がりはなく、私は5代目になります。

初代社長のご息子が沖縄特攻で戦死したこと、社内に適当な後継者がいなかったことで、2代目は公募により三菱長崎から来た山田重義氏でしたが、海軍兵学校出の非常に厳しい人で、物事を直角・平行・垂直にとらえ、かなり鍛えられました。

2. 会社(前畑造船)概要

創立は昭和23年で今年で66年になります。初代社長は戦艦大和の作業主任を務めた芳井一夫氏であります。初め佐世保海軍工廠出身の3~4名で設立したものの、核になる人がいないということで芳井氏に社長になってもらったとか。

建造船台が3本と浮きドック1基を所有しており、総トン数で1300トン、全長約80mまでの主として鋼船を年間に3~4隻建造、合わせて修理も行っております。

従業員は本工約80名、協力会社約70名、総計150名が働いております。

私が社長になって決めたのですが、出身地鹿児島島の偉人西郷隆盛の「敬天愛人」を我が社の社是としています。

製品としての船舶の建造については、他社と差別化を図るため、客船、フェリーや自衛隊艦船などの割合付加価値の高い船のオーダーメード的な受注建造を行っています。

省エネ型電気推進船の建造隻数では現在日本一となっています。

建造実績としては、パールシーリゾートの遊覧船「パールクィーン」、福岡西鉄の遊覧レストラン船「マリエラ」、東京湾の日本郵船系クルーズ船「レディクリスタル」、島原有明フェリーの「有明みらい」、日本初の電気推進タンカー「なでしこ丸」、自衛艦船などが特出すべき船としてあげられます。

3. 初代社長(芳井一夫)と戦艦大和

本日の主題となりますが、我が社の初代社長はあの戦艦大和の建造で作業主任を務めた事で知られています。

戦艦大和の進水式の指揮を執り、その後佐世保海軍工廠へ帰任し、おそらく戦艦武蔵の水中部装工事にも関係した事と思います。

浮沈戦艦と言われた大和は昭和20年4月7日、米航空部隊の攻撃で残念ながら海の藻屑

となつてしまいました。その後、4月12日には最愛の一人息子を沖縄航空特攻で亡くしており、度重なる不幸に愕然としたとの話を古い社員から聞いたことがあります。そんな事情で、芳井社長が戦艦大和の話はあまりしたがらなかったとの事を思い出します。



芳井一夫大佐

4. 小型造船界の現状と今後

小型造船界の状況をお話する為には、海に囲まれている我が国の物流がいかに内航海運に依存しているかをお話する必要があります。輸送する品物にもよりますが、輸送トンキロ率で言いますと80%近くが内航海運に依存しています。その分だけ日本では内航船が必要であるという事です。

その内航船ですが、過去に於いては所謂199総トン型が貨物船等では主流を占めていましたが、船員不足や内航業界の再編、物流の効率化により、より大型の499総トン型や749総トン型になってきています。したがって、その分船舶の隻数は減少しましたが、輸送物量はそれほど変化していません。

この内航船を建造する小型造船所(5000総トン以下)のほとんどが瀬戸内及び西九州地域に集中しており、付加価値の高いケミカルタンカーなどは建造できる小型造船所は我が社を含めて6社程度しかありません。

日本の造船界は円安で、2014年問題も霧消となり、また活況を呈して来つつあります。しかしながら、ここに来て団塊世代の優秀な技術者が退職する中で、人手不足がにわかに取りざたされています。

一時ベトナムへの進出を決めた大島造船も国内への回帰を決定しました。

特に中小の高付加価値船の建造については、地域に関連の企業や資材の供給先があるヨーロッパや日本でしか無理ではないかと思えます。国民性の問題もあります。

日本建造の小型船舶の寿命は20年として

も、東南アジア・中国製は5年しか無いかも知れません。韓国でも大手は別にして、中小の造船所はレベルが極端に低い様です。

造船は我が国に於いてはニッチな産業になりつつありますが、海がある以上、なくなることは無いと考えています。

5. 我が社の将来への展望

小型造船業は自動化の出来にくい人間的な仕事であり、最後は人だと思しますので、企業理念にもありますように、「物づくりは人づくり」を念頭に置いて、現場にもある程度考えさせる事で、物づくりの喜びを若者に教え、育てていきたいと考えています。

佐世保は造船業にとって、歴史もあり、米海軍、海上自衛隊があることで造船関連業者も多く恵まれた環境にあります。

その様な強みを活かして、小型造船業の新たな試みの発信基地を目指していきたいと考えています。ご清聴有り難うございました。



戦艦大和

3~4月 例会予定

- 3月19日 料理研究家 脇山 壽子 様
(長崎市在住)
 - 3月26日 黒髪山大智院
住職 草津 栄良 様
 - 4月 2日 観桜例会
 - 4月 9日 ハウステンボス株式会社
取締役 中谷 高士 様
(佐世保商工会議所副会頭)
- (今週の担当 大久保利博)
(カメラ担当 城島 一彦)

クラブ会報・広報委員会

委員長 長富 正博
副委員長 目黒 誠之

委員 大久保利博・城島 一彦
佐藤 淳